

第 196 号

ほほえみの会

2018.10.14

<2018.10.14 第 279 回 ほほえみの会>4 人が参加しました。

▼4 歳男の子、急性リンパ性白血病。太ももの付け根が腫れていて虫刺されかと思い救急へ行き翌日かかりつけ医に行ったところ、お腹にもしこりがあることがわかりこども病院を紹介された。骨髄にも悪い細胞があるという。抗がん剤治療を始めて腫瘍は消えた。順調に進んでいるように見えるが不安。なぜ、もっと早く気づいてあげられなかったのか悔やむ。医師の説明でわからないこともありモヤモヤした気持ちになる。

▼中学 2 年男子、再生不良性貧血。夜中に突然鼻血が止まらなくなり、救急車で総合病院に行きこども病院へ。骨髄移植が必要ということでドナー探しをして 8 か月後、4 日前に移植をした。野球部で元気な子だったが、なぜうちの子が病気になったのか。理不尽で神様はいないと思う。本人も思春期と反抗期で、薬飲まない、病院から脱走など、ケンカが絶えない。でも本人が一番辛い思いをしている。病気になったこと、治療法など納得いかないことに加えて子供の反抗もあり母は辛い。病気以上に精神的な悩みが大きい。親が発散できる場が欲しい。

最近、病気になって初めて知ることも多いことに気づき悪いことばかりではない。人生に当たり前はないと思うようになった。